

国道497号 今宿道路【直轄】

- 国道497号今宿道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、周辺地域の交通混雑の解消を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、用地買収、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》

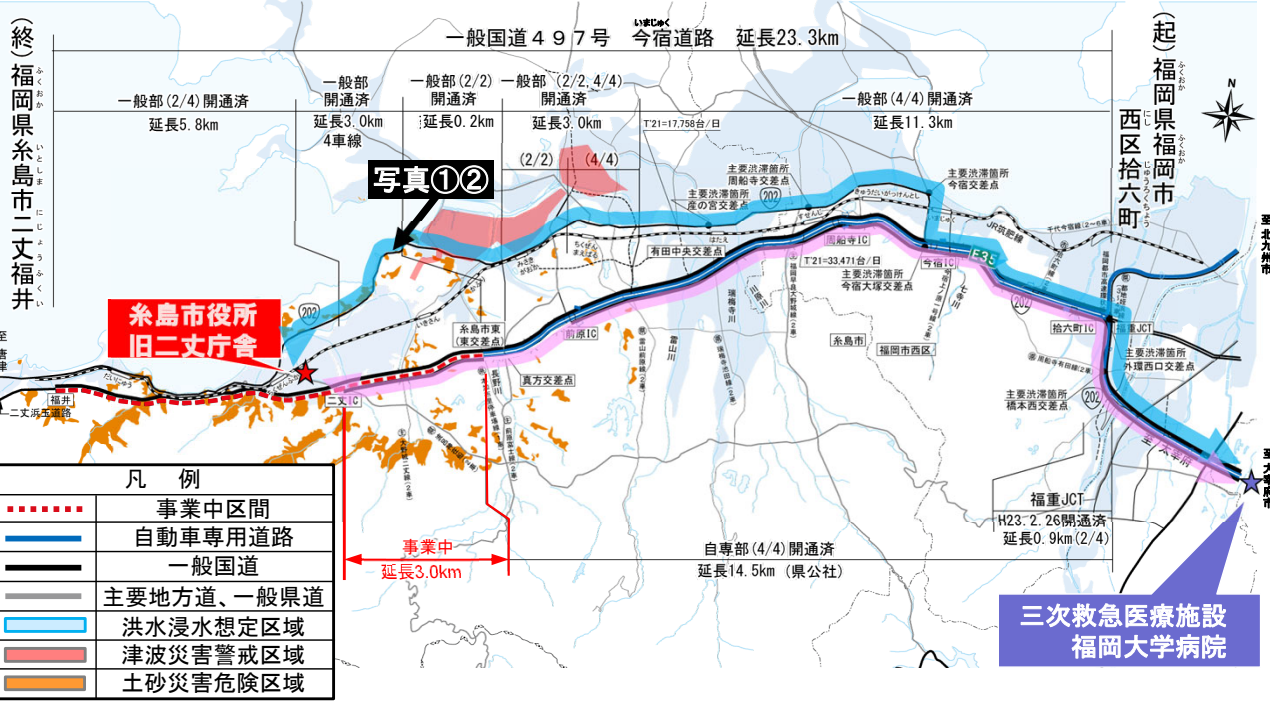


《諸元等》

事業区間：福岡県福岡市西区拾六町
 ～糸島市二丈福井

延長：23.3km
 全体事業費：2,791億円
 R5補正：13.5億円

《路線位置図》



《整備効果》

○ 当該道路の整備により、災害に強い緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲H22.7.13 道路冠水 (糸島市加布里地区)

▲H22.7.13 法面崩壊 (糸島市二丈浜地区)

○ 当該道路の整備により、三次救急医療施設への搬送時間の短縮(約56分⇒約23分)が図られ、定時性の向上により安定的な搬送を確保。

所要時間の変化



※令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)を基に、糸島市役所旧二丈庁舎から最寄りの三次救急医療施設にて算出

【人口減少を乗り越え、変化を力にする社会変革を起動・推進する】 福岡10号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に角田小学校及び角田中学校が立地し、児童・生徒の通学路として利用されているが、歩道幅員に一部狭小な箇所があるため、歩行者と車の接触事故の危険性が高く、安全が確保されていない状況。
- 本事業は、歩道の拡幅を行うことにより歩行者の安全・安心の確保を図り、歩行者と車両の接触事故防止を図る事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、調査設計を実施することで合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

○国道10号 松江地区歩道整備

《位置図》

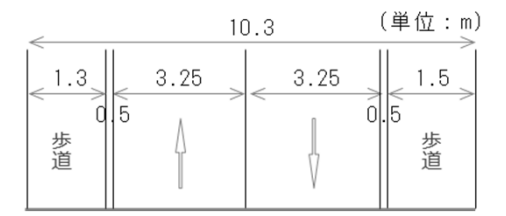


《諸元等》

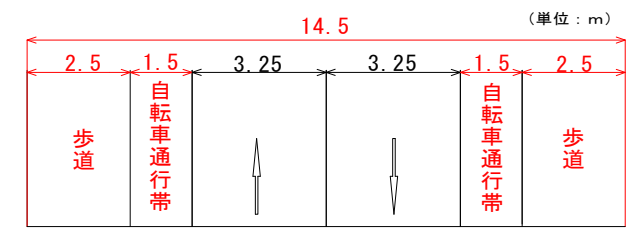
事業区間：福岡県豊前市松江
 延長：0.8km
 R5補正：0.1億円

《計画横断図》

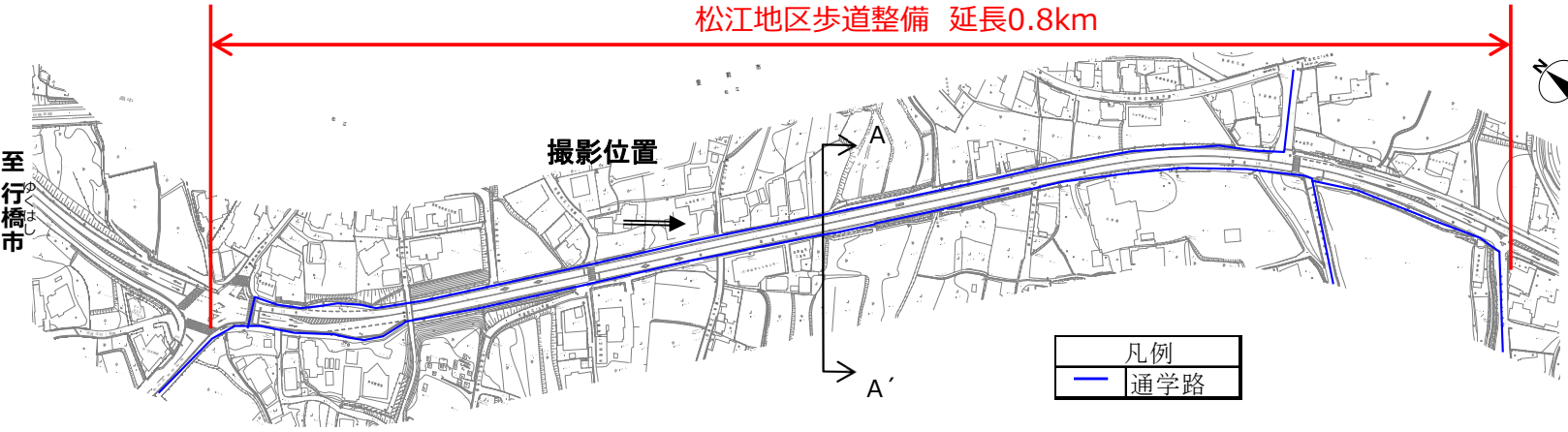
現況



計画



《平面図》



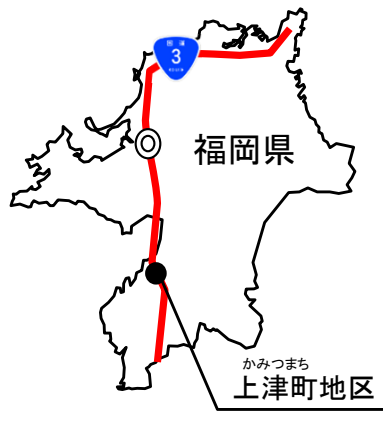
《現地状況写真》



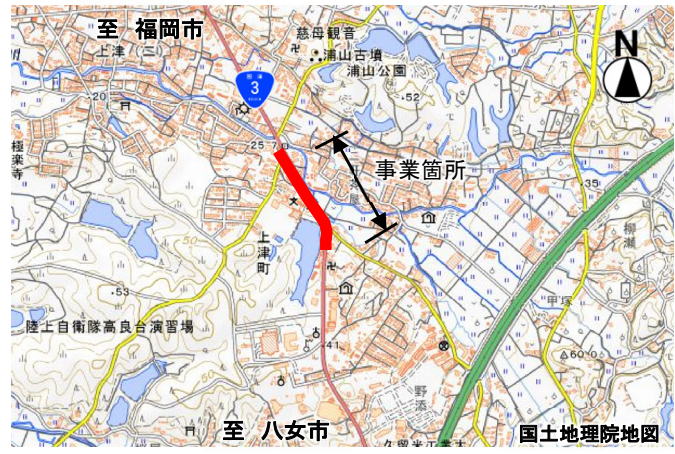
福岡3号 維持管理(老朽化対策)【直轄】

- 国道3号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約470kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、国道3号久留米市上津町地区において、路盤打換工事等を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

事業区間 : 福岡県北九州市～福岡県八女市
 延長 : 約137km
 R5補正 : 2.7億円

《現地状況写真》

舗装修繕箇所(全景)



路面クラック(近景)



路面クラック(近景)



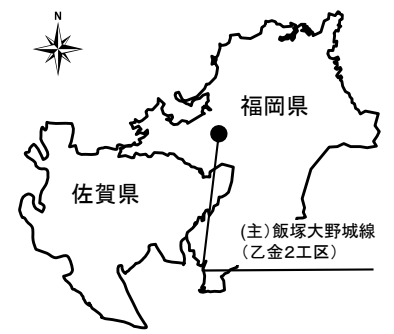
《対策イメージ》



主要地方道 飯塚大野城線(乙金2工区)【補助】

- 飯塚大野城線(乙金2工区)は、福岡都市圏と飯塚地域を結ぶ延長約35kmの広域的な幹線道路。当該箇所を4車線化することにより、慢性的な交通混雑を解消し、重要物流道路としての機能を強化することで、生産性向上を支援する物流ネットワークの確保を目的とする事業。
- 迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、地方を支える産業等の生産性向上に寄与する道路ネットワークの整備等を推進。

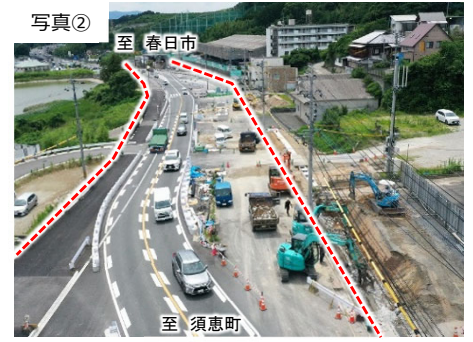
《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県糟屋郡宇美町貴船
 ~大野城市乙金東
 延長：0.8km
 全体事業費：35億円
 R5補正：0.75億円

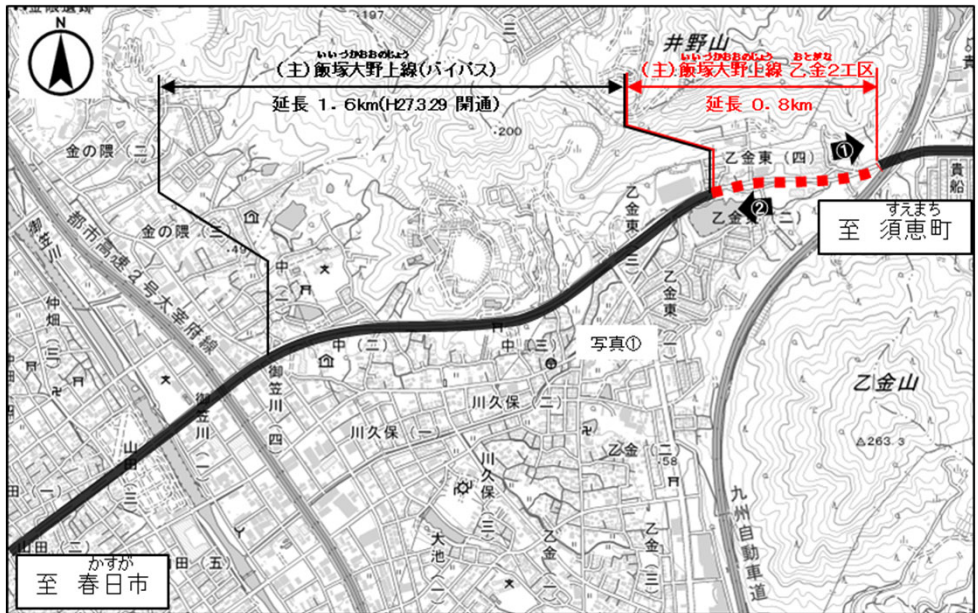
《現地状況写真》



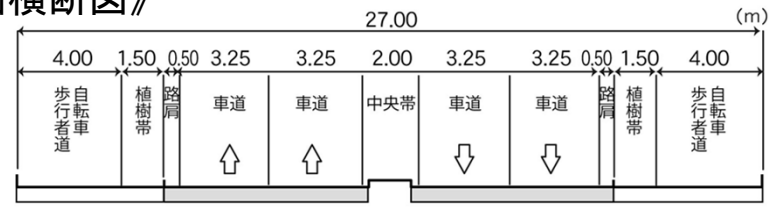
▲ 渋滞発生状況

▲ 工事状況

《路線位置図》

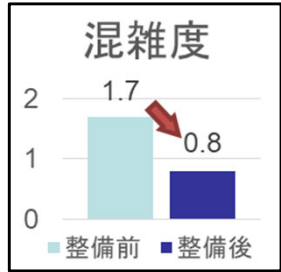


《計画横断面図》



《整備効果》

○道路の4車線化による交通量の増大により、慢性的な交通混雑の解消、沿道に立地する工業団地から高速道路等へのアクセス強化、定時制の確保が期待されることにより、生産性向上が図られる。



出典：H25福岡県土整備部 新規事業採択評価審議委員会資料

国道208号 大川佐賀道路【直轄】

- 国道208号大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

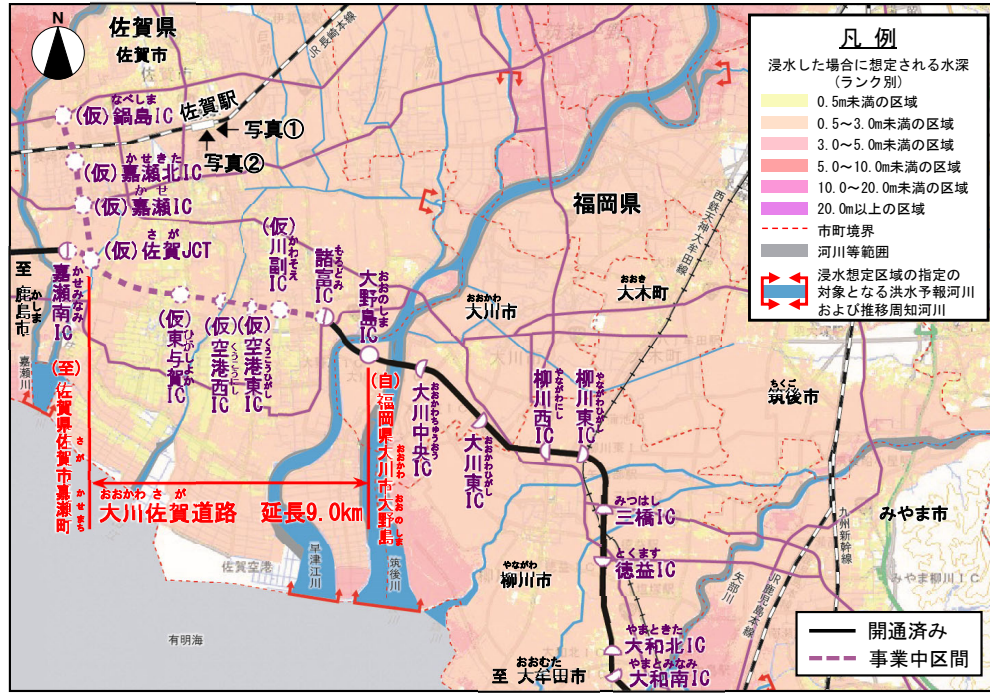
《位置図》



《諸元等》

事業区間: 福岡県大川市大野島～佐賀県佐賀市嘉瀬町
 延 長: 9.0 km
 全体事業費: 986億円
 R5補正: 8.7億円
 (うち福岡県0.0億円、佐賀県8.7億円)

《路線位置図》



《整備効果》

- 当該道路の整備により、浸水時の避難経路及び災害時の人命救助活動・物資輸送のための緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。

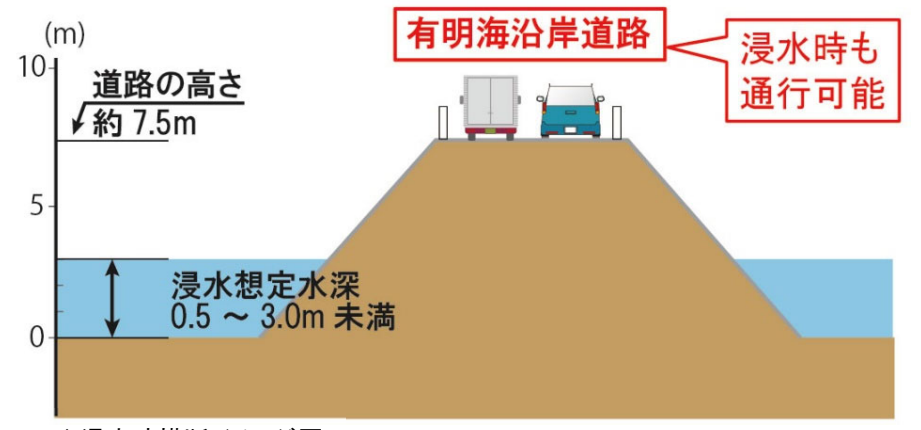
<浸水状況写真: 令和元年8月豪雨>



写真① 佐賀駅バスセンター前



写真② JR佐賀駅前



◆ 浸水時横断イメージ図

国道497号 伊万里道路【直轄】

- 国道497号伊万里道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、伊万里地域の幹線道路である国道202号の代替機能確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁上・下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》

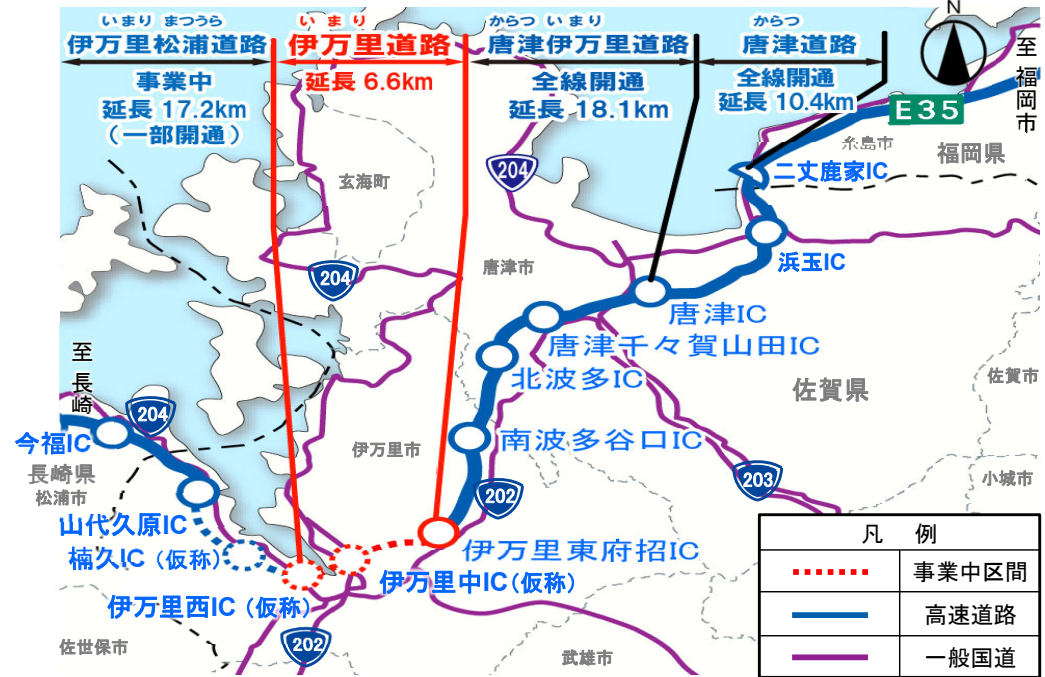


《諸元等》

事業区間：佐賀県伊万里市南波多町府招
～伊万里市東山代町長浜

延長：6.6km
全体事業費：339億円
R5補正：9.6億円

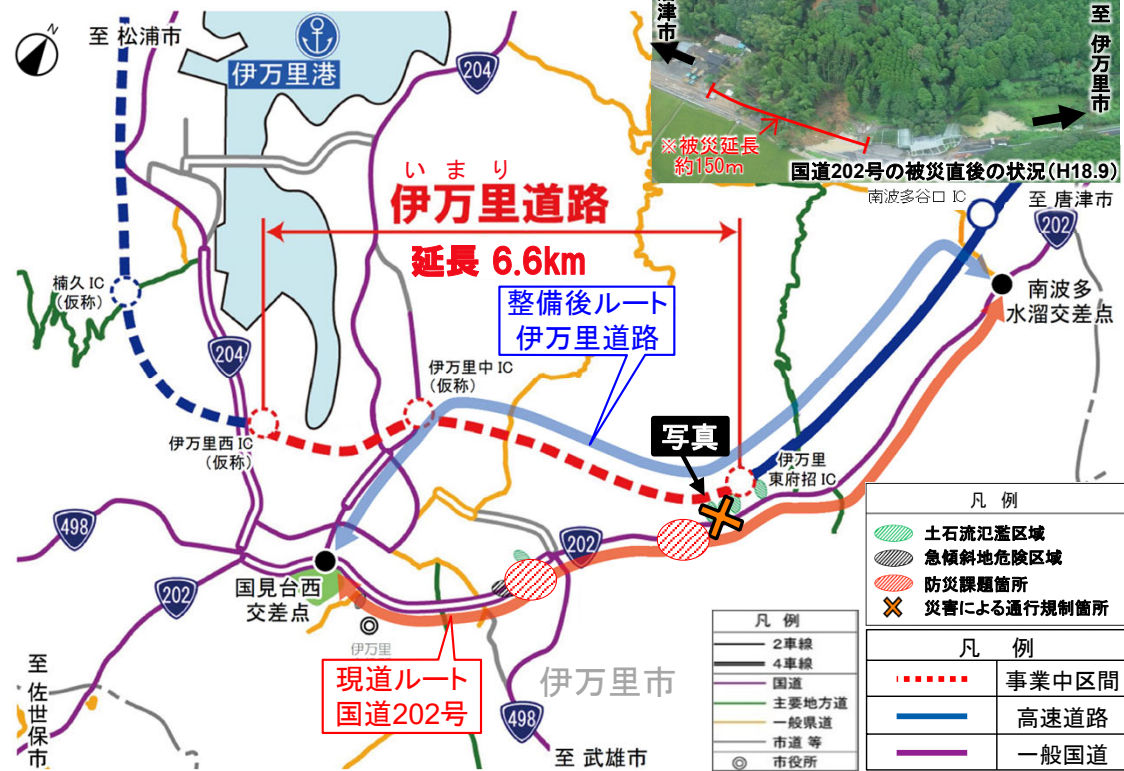
《路線位置図》



《整備効果》

- 並行する国道202号には、土石流氾濫区域及び急傾斜地危険区域が存在し、過去には降雨による大規模な地すべり災害により、7日間の全面通行止めが発生。
- 当該道路の整備により、国道202号の代替路を確保し、道路ネットワークの機能強化を推進。

《被災状況写真》



佐賀203号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に東原^{とうげんしょう}彦舎^{しやとうぶ}東部校が立地し通学路として利用されているが、歩道が未整備で歩行者の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、児童が通学経路として利用している歩道を整備することにより、安全安心な歩道空間の確保及び快適な交通環境の確保を図り、歩行者と車両の接触事故防止を図る事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、用地調査を実施することで合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

○国道203号 別府地区歩道整備

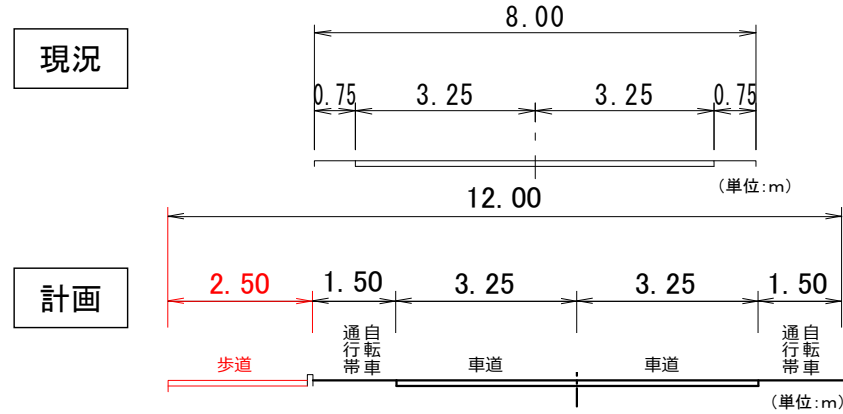
《位置図》



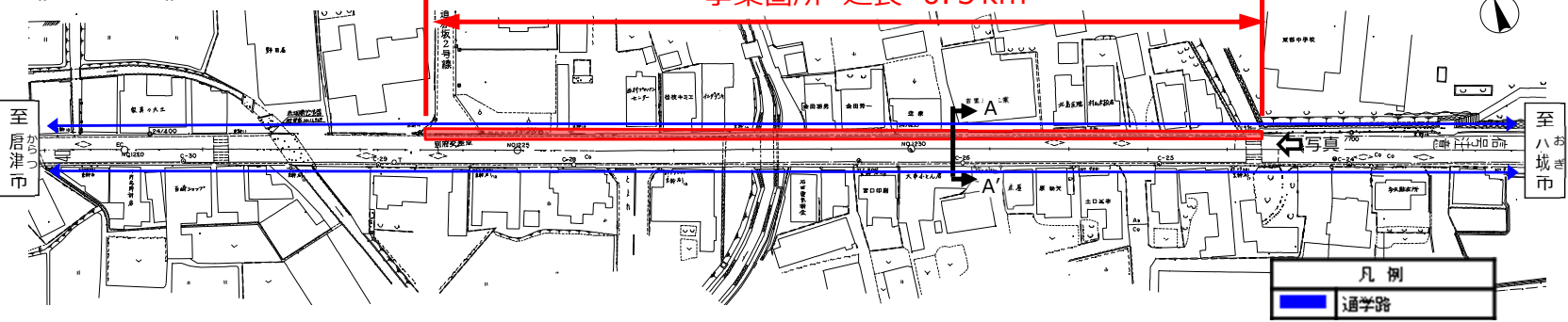
《諸元等》

事業区間：佐賀県^{たく}多久市^{ひがしたくまち}東多久町^{べふ}大字別府
 延長：0.3km
 R5補正：0.2億円

《計画横断図》



《平面図》



《現地状況写真》



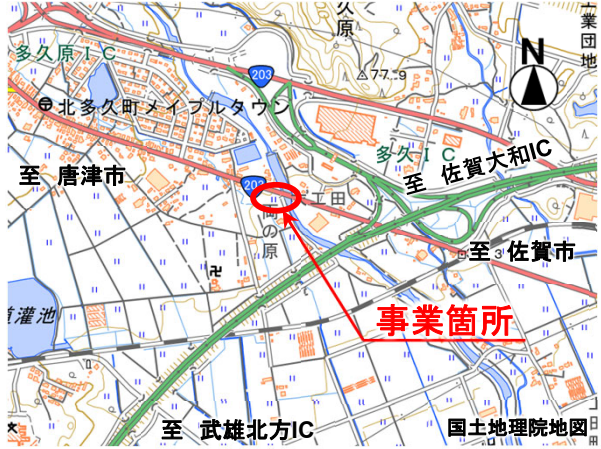
佐賀203号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

- 国道203号は、佐賀県唐津市を起点とし佐賀県小城市に至る全長約40kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 橋梁や道路の流失等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道203号今出川橋において、洗掘保護工等の洗堀・流失対策工事を実施することで、河川に隣接する道路構造物の流失防止対策を図る。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

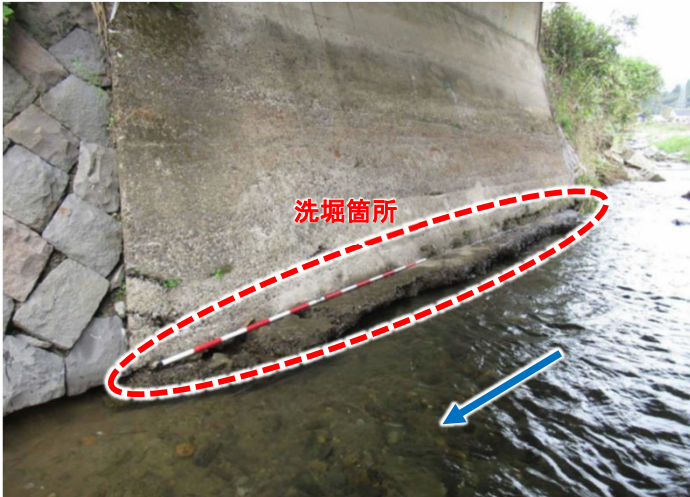
事業区間 : 佐賀県唐津市～佐賀県小城市
 延長 : 約40km
 R5補正 : 0.2億円

《現地状況写真》

洗掘防止箇所(全景)



洗掘状況(近景)



《対策イメージ》



国道208号 佐賀道路【補助】

- 国道208号佐賀道路は、佐賀唐津道路の一部を構成し、国道208号の交通混雑の緩和や、交通安全の確保を図るとともに、災害発生時の救急・救援物資の輸送機能の強化、医療施設へのアクセス性の向上などを目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、調査設計、用地買収、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：佐賀県佐賀市鍋島町森田
～ 嘉瀬町中原

延長：4.2km

全体事業費：447億円

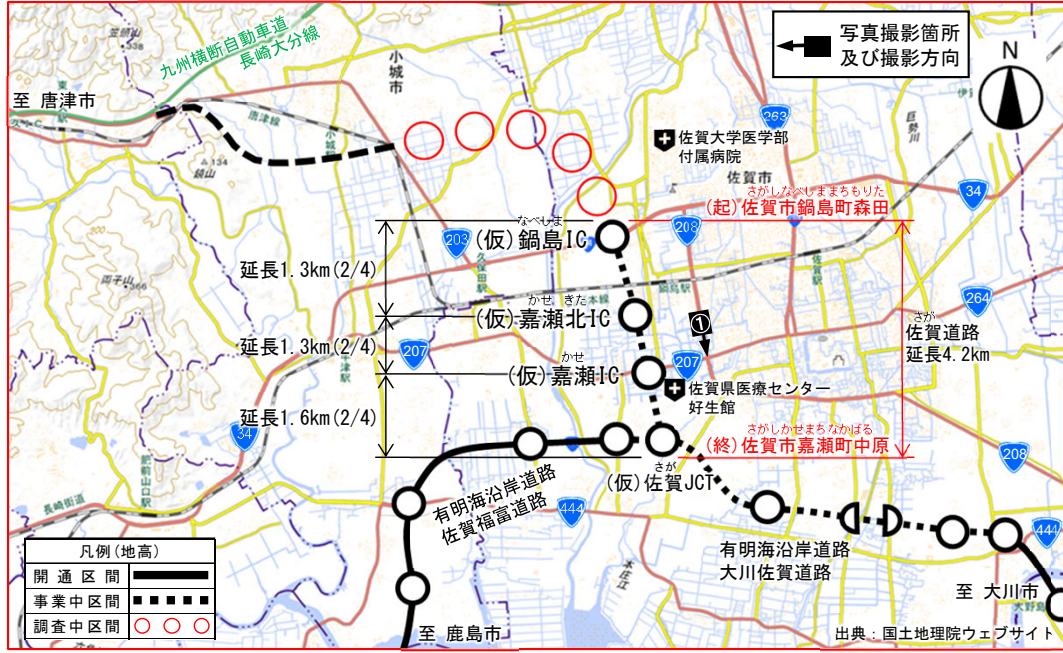
R5補正：12.1億円

《現地状況写真》



▲ 現道(国道208号 八戸交差点)の混雑状況

《路線位置図》



《整備効果》

- 第1次緊急輸送道路である九州横断自動車道長崎大分線と有明海沿岸道路を連絡し、災害時の輸送機能を強化
- 災害時における航空輸送施設に指定されている九州佐賀国際空港や防災航空センターへのアクセス性を強化し、迅速な救援・救助、復旧・供給活動を支援



航空輸送施設(指定) 九州佐賀国際空港、防災航空センター



▲ 佐賀県防災航空センター (令和3年3月開所)



▶ 消防防災ヘリコプター「かちどき」 (令和3年3月運行開始)

各地から佐賀道路などを使って、人員・物資などを防災センターに輸送し、防災ヘリコプターにより、孤立した被災地等への輸送が可能となる。

主要地方道 中原三瀬線(石動工区)【補助】

令和3年度通学路合同点検で抽出された対策必要箇所において、通学路の安全な通行を早期に確保するため、補正予算の充当により、歩道設置工事を実施することで、公安委員会・警察が実施するソフト対策と組み合わせた交通安全対策を推進。

《位置図》



《現地状況写真》



▲ 歩道がなく、車両が通学児童の真横を通過



▲ 歩道の設置により、安全な歩行空間を確保

交通安全対策補助(通学路緊急対策)

佐賀県内

R5補正:11.7億円

《個別事例》

○路線名:主要地方道 中原三瀬線(石動工区)

○事業箇所:佐賀県神埼郡吉野ヶ里町

○事業主体:佐賀県

対策内容

【公安委員会・警察】
・交通規制の実施



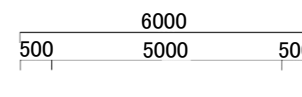
【道路管理者】
・歩道設置工事

《路線位置図》

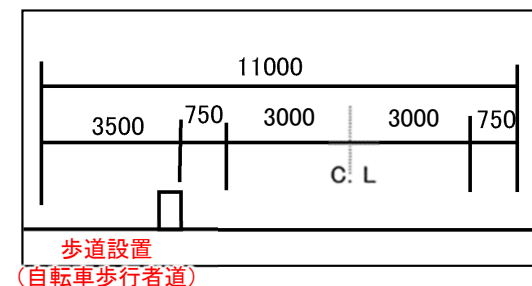


《計画横断図》

(現況)



(計画)



国道57号 森山拡幅【直轄】

- 国道57号森山拡幅は、島原半島と諫早市を連絡し、諫早市内及び周辺部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》

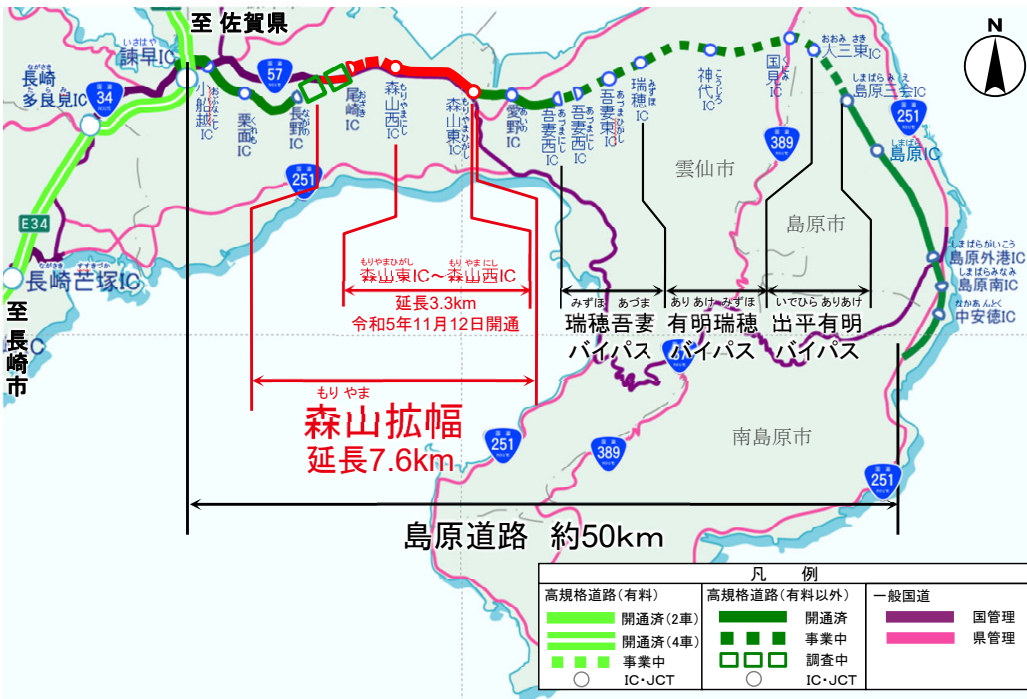


《諸元等》

事業区間：長崎県雲仙市愛野町乙
～ 諫早市長野町

延長：7.6km
全体事業費：594億円
R5補正：6.6億円

《路線位置図》



《整備効果》

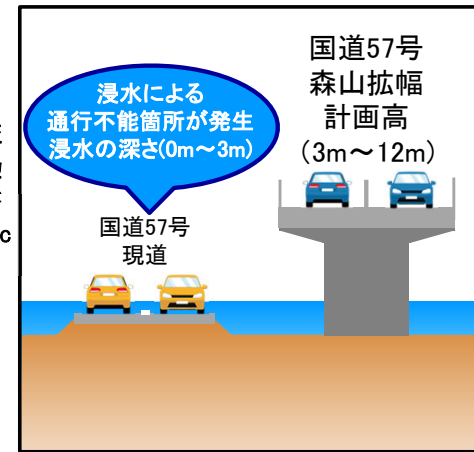
- 当該道路の整備により、洪水浸水被害に強い緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。

もりやま

▼ 森山拡幅周辺の浸水想定区域



▼ 浸水被害時(イメージ)



写真①



▲ 大雨による国道57号の路面冠水状況

写真②



▲ 大雨による国道57号周辺地域の浸水状況

国道497号 松浦佐々道路【直轄】

- 国道497号松浦佐々道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、北松地域の唯一の幹線道路である国道204号の代替機能確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、トンネル設備工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県松浦市志佐町
～北松浦郡佐々町沖田免

延長：19.1 km
全体事業費：907億円
R5補正：26.0億円

《路線位置図》



《整備効果》

- 並行する国道204号には、土砂災害危険区域が存在し、過去には法面崩壊が発生。
- 当該道路の整備により、国道204号の代替路を確保し、道路ネットワークの機能強化を推進。



国道204号法面崩壊の状況 (提供：長崎県)

長崎34号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

- 国道34号は、佐賀県鳥栖市を起点とし長崎県長崎市に至る全長約130kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 土砂災害等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道34号東彼杵郡東彼杵町彼杵宿郷地区において、法面工等の法面对策工事を実施することで、道路法面・盛土対策を推進。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

事業区間 : 長崎県東彼杵郡東彼杵町～長崎県長崎市
 延 長 : 約57km
 R5 補正 : 1.3億円

《現地状況写真》

法面对策箇所(全景)



亀裂状況(近景)



《対策イメージ》



国道251号 瑞穂吾妻バイパス【補助】

■国道251号瑞穂吾妻バイパスは、島原道路の一部を構成し、島原半島地域から九州横断自動車道や長崎空港へのアクセス向上を図るとともに、搬送時間短縮による救急医療体制の強化や島原半島地域と長崎・県央地域との連携強化、国道251号の危険箇所回避による災害時の代替路確保を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、用地買収、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県雲仙市瑞穂町
～雲仙市吾妻町

延長：6.4km
全体事業費：180億円
R5補正：28.7億円

《現地状況写真》



▲ 国道251号(現道)の混雑状況



▲ 瑞穂IC～吾妻東IC間の工事状況

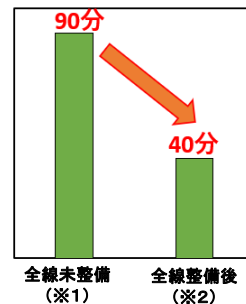
《路線位置図》



《整備効果》

- 島原半島地域から九州横断自動車道までの所要時間短縮や定時性確保。
- 島原半島地域から第3次救急医療施設への搬送時間の短縮。
- 災害時の救急活動や緊急物資の円滑な輸送に寄与。

《時間短縮効果》



▲ 南島原市深江支所から諫早ICまでの所要時間

※1: H9道路交通センサス(混雑時旅行速度)
※2: 開通区間は規制速度未開通区間は80km/h(設計速度)



■ 対象区間
■ 供用中
■ 事業中
■ 越波(H17)

主要地方道長崎空港線 箕島大橋 道路メンテナンス事業【補助】

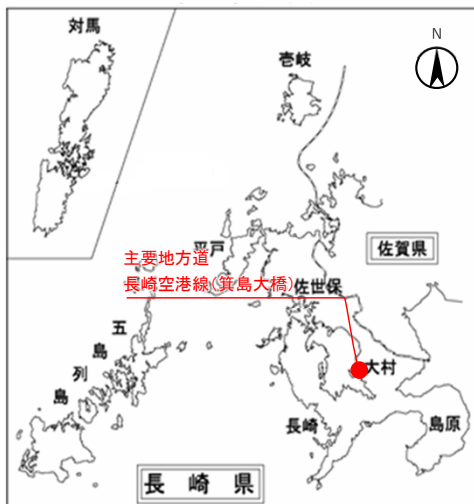
■(主)長崎空港線箕島大橋は長崎空港と緊急輸送道路である(主)長崎空港線を結ぶ橋梁であり、1974年(橋令49年)の架橋から老朽化が進み、早期に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ)。

■箕島大橋は、コンクリートのひび割れや剥離などの劣化が著しく進行していることから、補正予算の充当により、新技術を活用した断面補修等の修繕工事を推進することで、緊急輸送道路の機能強化や地域防災上の安全、安心の確保を図るとともに、予防保全型メンテナンスへの早期転換を図る。

《代表箇所》

- 事業箇所：箕島大橋 (橋長:970m)
- 架設年次：1974年
- 判定区分：Ⅲ(2022年度)
- 路線名：(主)長崎空港線
- 所在地：長崎県大村市箕島町

《位置図》



《平面図》



《長寿命化修繕計画》

- 計画の名称：長崎県橋梁長寿命化修繕計画
- 事業主体：長崎県
- R5補正：15.4億円

《事業箇所》



全 景(写真①)

《現地状況写真》



コンクリートの剥離

従来技術



腐食による再劣化の懸念

《対策イメージ》



新技術活用による耐久性向上とLCC縮減

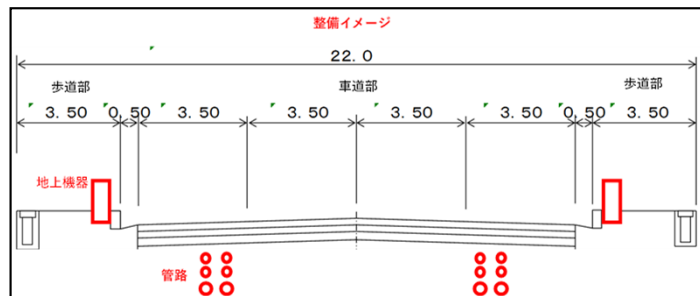
国道444号 電線共同溝【補助】

■電柱倒壊による道路の通行止めリスクを解消するため、補正予算の充当により、長崎県無電柱化推進計画事業を実施することで、市街地の緊急輸送道路における無電柱化を推進。

《代表箇所》



- 箇所名：一般国道444号
さくらばば いけだ
桜馬場2丁目～池田2丁目【第一次緊急輸送道路】
- 事業区間：長崎県大村市桜馬場2丁目～池田2丁目
おおむら さくらばば いけだ
- 整備延長：2.94km (1.47km×両側)



《事業計画》

- 無電柱化推進計画の名称
：長崎県無電柱化推進計画 (R4.12改定)
- 事業主体：長崎県
- 事業個所数：10箇所
- R5補正：4.4億円

○一般国道444号は、長崎県大村市を起点とし、佐賀県佐賀市に至る広域的な幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている路線である。

○道路空間から電柱を無くすことにより、道路の閉塞リスクを排除し、交通・輸送機能を確保するため、大村市桜馬場2丁目から池田2丁目の区間において無電柱化を推進する。



国道57号 竹田阿蘇道路【直轄】

■ 国道57号竹田阿蘇道路は、大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■ 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県竹田市大字会々
 ～熊本県阿蘇市波野大字小地野

延長：22.5 km
 全体事業費：688億円
 R5補正：13.7億円
 (うち熊本県 0.6億円
 大分県 13.1億円)

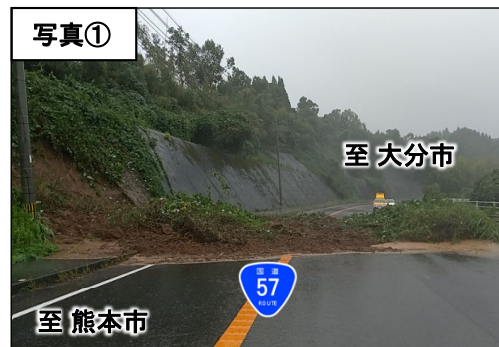
《整備効果》

○ 当該道路の整備により、並行する国道57号の防災課題箇所を回避する緊急輸送道路として機能。
 これにより、道路ネットワーク機能の強化を推進。

《路線位置図》



▲ 国道57号の通行止め状況



▲ R4.9 台風14号の被災状況



▲ H24.7 九州北部豪雨の被災状況

【地方・中堅・中小企業を含めた持続的質上げ、所得向上と地方の成長を実現する】

国道57号 大津熊本道路(大津西～合志、合志～熊本)【直轄】

- 国道57号大津熊本道路は、大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。
- 迅速かつ円滑な物流・人流を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、地方を支える産業等の生産性向上に寄与する道路ネットワークの整備等を推進。

《位置図》
大津熊本道路
(大津西～合志)



《諸元等》

【大津熊本道路(大津西～合志)】
 事業区間: 熊本県菊池郡大津町杉水～合志市上庄
 延長: 4.7km 全体事業費: 310億円
 R5補正: 2.0億円

【大津熊本道路(合志～熊本)】
 事業区間: 熊本県合志市上庄～熊本市北区大鳥居町
 延長: 9.1km 全体事業費: 530億円
 R5補正: 17.0億円

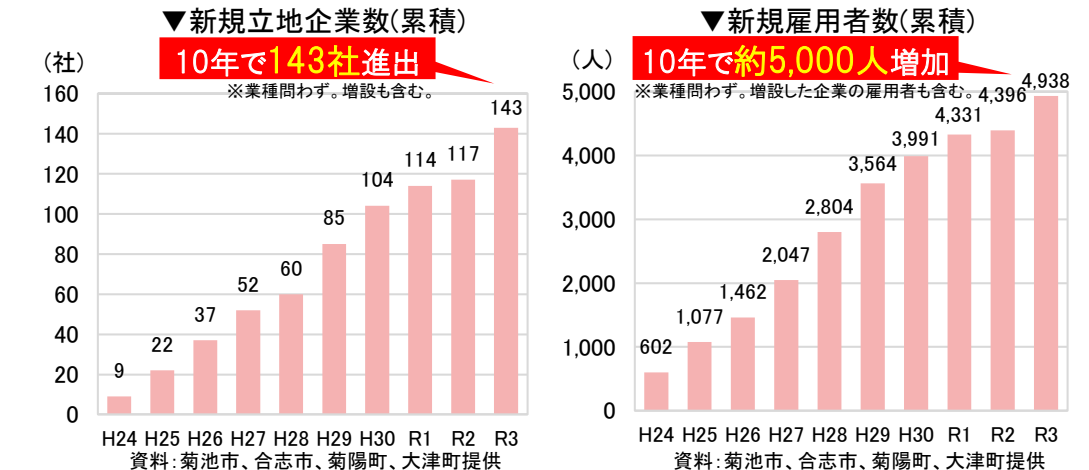
《路線位置図》



《整備効果》

○ 大津熊本道路沿線地域※は製造品出荷額が県内第1位の工業地域であり、半導体関連工場や二輪四輪車関連工場等が集積。新たな工業団地の開発も進んでいる所。

○ 広域道路ネットワーク整備により、走行性の向上と所要時間の短縮が図られ、沿道地域の更なる産業発展、地域活性化に期待。



▼ 沿線への世界最大手半導体メーカーの進出(R6稼働予定)

写真① 世界最大手半導体メーカー

投資額 約9,800億円
新規雇用者数 約1,700人予定

おおづくもと 大津熊本道路

世界最大手半導体メーカー

おおづにし 大津西IC(仮称)

至: 熊本市

R5.10撮影